

ハラスメント防止研修を開催しました！

2021
01 月号
no.591

支える人を支える 京都の 福祉

『京都の福祉』は福祉関係者に福祉の課題や情報を提供する「京都府社会福祉協議会」(府社協)が発行する広報誌です



●今月の「ふくしびと」は福田 雅人さん ▼7ページ

●京都府社会福祉協議会会長 年頭挨拶 ▼2ページ

●京都府知事 年頭挨拶 ▼2ページ

もえくさ



T.T

新年あけましておめでとようございませう。

コロナ禍のもとに新年を迎えることとなりましたが、高齢者や障害のある人たちの生活を支えている方々、家で安心して過ごすことができる方々、子どもたちを支援している方々、悩みごとの相談に応えている方々など、この年末年始も最前線に立つておられた皆様により感謝申し上げます。

今回の感染の拡がりにより、私たちは、府民の皆様の暮らしや困りごとの思いを巡らせ、また、人のつながりのあり方をあらためて考えさせられることとなりました。今年、感染が収まり、この経験を共生社会につなげる一年にしたものです。

京都府社協では、「つながりをいかに、だれもが尊厳をもって生きる」ことができる社会をつくることを基本理念に掲げていますが、その実現のため、会員制度の見直しに取り組んでいます。会員の皆様をはじめ多くの関係者の方々とのつながりをいかに、だれもが安心して希望の社会になるよう努めていきたいと思っております。

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

誰もが希望を持てる一年に

社会福祉法人 京都府社会福祉協議会 会長 位高光司



新年あけましておめでとうござい
います。

はじめに新型コロナウイルス感
染症の終息の見極めが難しい中、
福祉・介護サービスの提供や各種
相談・支援などの地域福祉の最前
線で、感染予防に細心の注意を払
いながら、日夜御奮闘いただいで
いる皆さま方に心から感謝を申し
上げます。

さて、今年は辛丑かのとせうの年にあたり
ます。「辛」は『新』という字に
通じ、植物が枯れて新しい世代が
生まれようとする状態、「丑」は
新しい生命や種子がこれから伸び
始める状態を指し、先を急がず目
前のことを着実に進めることが将
来の成功につながっていくといわ
れており、誰もが希望を持てる一
年になることを切に願っております。

ただ、現下のコロナ禍の下、我
が国の社会・経済活動は停滞傾向
にあり、府民生活に及ぼす影響も
大きく、その長期化が懸念される
ところです。地域社会の分野にお
いても、感染拡大防止の観点から
社会福祉大会をはじめ様々な事業
や活動の一部が中止又は縮小・延
期等を余儀なくされております。
また、この間の生活福祉資金の緊
急特例貸付を実施する中で、今ま
で社会福祉協議会との接点の無か
った多くの方が置かれている困難
な状況を目の辺りにし、今こそ地
域福祉のネットワークの重要性を
痛切に感じております。

こうした中、私ども京都府社会
福祉協議会は、今年度から第5次
中期計画を、「つながりをいかし
て、だれもが尊厳をもっていきる
ことのできる社会をつくる」を目
標に掲げてスタートさせました。

この計画を実効性のあるものにす
るため、今まで以上に市町村社会
福祉協議会や民生児童委員、社会
福祉施設や各種福祉団体、ボラン
ティアなどをはじめ多様な分野の
方々と連携し、地域で重層的に見
守りを支える「絆ネット」づくり
などに取り組んでまいります。そ
して、福祉課題を抱え支援を必要
とする人を制度の隙間で見失わな
いよう、京都府の全ての社会福祉
関係者の思いを一つに集め、『共
生社会』の実現に向けて更なる歩
みを進めてまいりますので、引き
続き御理解と御協力を賜りますよ
うお願い申し上げます。

結びに、皆さまにとつて令和3
年が素晴らしい年となりますこと
を心からお祈り申し上げます、新年の
ご挨拶といたします。

夢や希望を持てる未来へ 上を向いて歩もう

京都府知事 西脇 隆俊



あけましておめでとうございま
す。府民の皆さまにおかれまして
は、つつがなく新しい年をお迎え
のこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感
染症によって、府民生活や社会経
済活動がかつて経験したことな
い甚大な影響を受けた年でありま

した。さまざまな困難の中、感染
拡大防止にご協力を頂いているす
べての府民の皆さま、事業者の皆
さま、医療従事者をはじめ関係の
皆さまに、心から感謝と敬意を表
する次第であります。

人類は長い歴史において幾度と
なく感染症の脅威にさらされなが
ら、必ず乗り越えてきました。
「下を向いていては、虹を見つ
けることはできな」
～ You'll never find a rainbow
if you're looking down ～

これは世界の喜劇王、チャール
ズ・チャップリンの言葉です。コ
ロナ禍を乗り越えた先にある、未
来に夢や希望を持てる新しい京都
に向かって、われわれは上を向い

て大会を成功に導き、さらには
2022年度中の文化庁の全面的
な移転など、京都の持つ文化の力で、
地域の隅々まで光が満ちるように元
気な未来を築いてまいります。

本年は丑年。牛の歩みも千里と申
すように、一歩一歩、力強く歩みを
進め、成功を導く年とされています。
地域に子どもたちの笑い声が響き、
すべての府民が笑顔で過ごせる京都
を実現するため、皆さまと共に歩ん
でまいります。

皆さまにとりまして、本年が健や
かで幸多き一年でありますよう心か
らお祈り申し上げます、新年のごあいさ
つといたします。



令和2年度人権擁護啓発ポスターコンクール

京都府社会福祉協議会会長賞が決定しました!

人権擁護啓発ポスターコンクールは、府内の小・中・高等学校の児童・生徒が、人権をテーマとしたポスター（絵画）の制作を通じて基本的人権について一層理解を深め、人権尊重の精神を養う機会とするため昭和59年度から実施されています。今年度は小・中・高の中から156校4046点の応募がありました。その中から京都府社会福祉協議会会長賞として、南丹市立八木西小学校治田夕希穂さんの作品が選ばれました。作品は京都府ホームページでご覧になることができます。

ハラスメント防止研修を

開催しました！

2020年（令和2年）6月1日に改正労働施策総合推進法（パワハラ防止法）が施行され、パワーハラスメント防止措置が事業主の義務となりました。福祉人材・研修センターでは、（株）ナースハートの井上泰世さんを講師に迎えて、管理職やリーダーなど職場でハラスメントの相談を受ける立場の方を対象にしたハラスメント防止研修を開催しました。



株式会社ナースハート
代表取締役 井上泰世さん

個人を対象としたパーソナル・コーチング、カウンセリングを行うほか、病院や企業、商工会などにて、コミュニケーション関連の研修、セミナー講師としても幅広く活動中。
<http://nurse-heart.com>



「密」を避けての受講風景

職場環境の悪化や 事故へとつながる危険性も

ハラスメントとは、他者に対する発言や行動などが本人の意図と関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益や脅威を与えることです。

今回特に焦点を当てたハラスメントは次の2つ。第1に「パワーハラスメント」についてです。職場の中で立場の強い者が立場の弱い者に対し、その強さを背景に人格や尊厳を侵害する言動が行われることといえます。

職場でのパワーハラスメントの問題点として、職員と組織への影響があります。前者は心身の健康を害し、休職等に至る場合があるだけでなく、周りの職員へも悪影響になり、職場環境の悪化に繋がります。後

者はモラルが低下することで、生産性の低下を招き、それが不祥事や事故へとつながる危険性があります。

パワーハラスメントにならない指導のポイントには、①叱る前に一呼吸おく、②指導が必要な具体的な行動に焦点を当てる、③性格非難や人格の否定はNG、④指導が部下にどのように伝わったかを確認する、といったことが挙げられます。

第2に「セクシャルハラスメント」です。その定義は、性的な言動に対するその雇用する労働者の対応により、当該労働者その労働条件につき不利益を受ける、または当該性的な言動により、当該労働者の就業環境が害されること。具体的には、容姿や年齢、身体的特徴について話題にされた、不必要に身体を触られた、といったことが該当します。

相談者が安心して 話せる体制づくりを

こうしたハラスメントの対応として、相談窓口を設置し、相談受付の担当者を決めるといった、相談のための体制整備が重要です。相談担当者には、男女とも含めた複数人を選び、相談者が話しやすい相談担当者を選択できる体制を整えましょう。またハラスメントや人権に対する理解を深め、中立的な立場であることが求められます。相談対応にあたっては、プライバシーの保護や不利益な扱いがないこと、相談担当者が安心して相談にのれるように、マニュアル

ルの整備や、各種専門家や関係機関との連携、相談記録の保管、取り扱いルールの整備も必要です。

もしご自身が相談担当者となった場合、相談者の話を聞く時は、相手が安心して話せる雰囲気と状況作りが大切です。その上で、相手は何を語りたいのか、言葉の奥にある思いを意識しながら、自分の言葉を挟まず聞くのがポイントです。そして相手の話を否定しないこと。また相手の話に合わせて、アイコンタクトやうなずきをするなど、「積極的傾聴」を心がけてください。相手との信頼関係を築くことがなによりも一番大切です。

ハラスメントを 起こさないために

職場内のコミュニケーションが不足していると、様々な問題が起こりやすく、ハラスメントが起こる割合も高くなってきます。そうならないためには職員全員が人権意識や危機意識を持ち、自分の立場や言動に配慮することが大切です。それでもハラスメントが起きてしまった場合は、迅速かつ適切に対応したうえで、正確な事実確認・要因分析を行い、再発防止の対策を立てることが大事です。決して一人で抱え込まないようにしましょう。

あなたは大丈夫？ パワーハラスメントチェック

質問	そう思う	思わない
1 部下や年下の人から意見を言われたり、口答えをされたりするとイラッとする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 自分が間違っていたとしても、部下や後輩に対して謝ることはない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 自分は短気で怒りっぽいと思う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 期待した結果が得られないと、感情的になりやすい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 厳しく指導をしないと、人は育たないと思う。自分も先輩の厳しい指導があって今があると思っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 なんとなく気に入らない人や、目障りと感じる人がいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 仕事のできない人には、仕事を与えない方がよいと思う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 利用者に迷惑をかける場合は、終業時間間近であっても残業を要請するのは当然だと思う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 仕事上の目標を達成できない人は、職場にとってお荷物だと思う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 学校やスポーツで体罰をする指導者の気持ちは理解できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

出典「(公財) 21世紀職業財団『誰もがイキイキと働ける職場づくりのために』より一部改変」

ハラスメント研修 参加者の声

今までぼんやりとしかハラスメントをわかってなかったが、今回のお話でそもそもハラスメントとは何かを理解することができた。

自分は大丈夫だ!といった根拠のない自信を持つのではなく、自分にも「当てはまるかもしれない」、自分も「するかもしれない」という意識をもつことが大切であると知れたことが良かったです。

ハラスメントの防止は、利用者への虐待防止につながるかわかり、自分の事業所でも実践してみようと思いました。

日頃のコミュニケーションの大切さを改めて認識できました。

ハラスメントを防止するには、まず毎日の職場内でのコミュニケーションが大切だとわかりましたし、管理者だけでなく全職員がハラスメント防止に努めるよう意識する必要性を感じました。

ハラスメントの防止対策や対処法が理解できたので、施設長をはじめ、職員全員に周知徹底をはかろうと思います。

普段の何気ない言葉が相手を傷つける可能性があるかと再認識できました。また、これからの自分の言動にも気をつけます。

※井上先生の講義を基に京都府社会福祉協議会にて記事を作成しました。



子どもたち一人一人に
寄り添うことを
ブレずにやっていきたい

児童養護施設 舞鶴学園 ● 福田 雅人さん

◆この職場を選んだ決め手は？

大学時代のサークル活動の一環としてここを訪れたことがあり、その時のご縁でお世話になっています。

◆職場のいいところ

職員間の風通しがよく、雰囲気もすごくいいです。先輩からは貴重なアドバイスもいただけますし、人との出会いに恵まれています。

◆休日の過ごし方

住み込み職員として働いているので、休みの日も子どもたちと一緒に遊んでいます。子どもたちの笑顔に元気をもらっています！

「元々は小学校の先生になりたくて、大学も教育学部に通っていたんです。その大学時代に、なにかボランティアをしたくて入ったサークルで、児童養護施設で学習支援をしていました。勉強を教えたり、一緒に体を動かしたりして子どもたちと触れ合っていく中で、次第に児童福祉の道に進みたいという気持ち湧いてきたんです」と話す福田さんは、舞鶴学園で働き始めて3年目を迎えます。

舞鶴学園では小舎制を導入し、子どもたちは6つの家に分かれて、アットホームな雰囲気の中で暮らしています。

福田さんは料理や掃除、洗濯など子どもたちの日常生活を支えています。

「ある職員の方に言われた、『向き合うことも大切だけど、寄り添うことを大切に』という言葉を大事にしています。『向き合う』って、なにかコミュニケーションを取らなきゃいけないですけど、『寄り添う』ことは、たとえ会話が無くても、近くにいてあげることだと思っています。子どもたちに信頼、信用してもらいたいですし、子どもたちを信じてあげたい。これからも一人一人に寄り添うことをブレずにやっていきたいですね」

【施設名】(福) 舞鶴学園
【場所】京都府舞鶴市泉源寺立田 223
【URL】 <http://www.maizurugakuen.org>
【TEL】 0773-62-1315 【FAX】 0773-62-2159

with コロナウイルス

感染症対策に留意した 災害訓練の工夫



災害に備えて、毎年のように行なわれていた市町村の災害ボランティアセンター設置・運用訓練を、今年度は新型コロナウイルス等感染症予防の工夫をして実施しました。

令 和2年7月豪雨災害では九州地方など各地で甚大な被害が発生し、県外からのボランティアによる支援も、感染症予防の点から困難を極めました。

亀岡市社協、南丹市社協、京丹波町社協では、令和元年6月、「京都府市町村社協連合会南丹ブロックにおける災害ボランティアセンターの相互協力に関する協定」を締結しました。その協定に基づいて非常時に連携できるよう、令和2年9月26日に、感染症予防策を講じた災害ボランティアセンターの合同訓練を実施し、京都府社協と京都府災害ボランティアセンターも参加しました。

普段は、多くの市町村が地域の方と一緒に、ロールプレイやシミュレーションを取り入れた訓練を行っています。コロナ禍の状況を鑑み、災害ボランティアセンターを運営する社協職員の学びの訓練へと変更。グループに分かれ、ボランティアの方に安心して活動してもらえような3密(密閉・密集・密接)を防ぐ意見や、感染症予防策を講じていることを周知するための効果的な案内・看板の設置について、意見を出し合いながら進める訓練を行いました。また、ボランティア受付ではQRコードを取り入れ、名前の確認のみで受付が完了する方法も取り入れました。

いざという時に備え、普段から意見を出し合い協働する。「仲良いことは連携の強み」を再発見しました。

災害ボランティアセンターとは

災害ボランティアセンターは、災害時にボランティアの力を借りて、復旧・復興に向けて被災者が自立・生活再建することを目指すために開設されます。ボランティアを募集し、被災者と繋ぐ調整機能をもった窓口になりますが、コロナ禍において、市町村社協の実施する訓練も中止や延期が増えました。京都府災害ボランティアセンターでは、市町村からの相談を受けながら訓練に協力させていただきます。

「ある職員の方に言われた、『向き合うことも大切だけど、寄り添うことを大切に』という言葉を大事にしています。『向き合う』って、なにかコミュニケーションを取らなきゃいけないんですけど、『寄り添う』ことは、たとえ会話が無くても、近くにいてあげることだと思っています。子どもたちに信頼、信用してもらいたいですし、子どもたちを信じてあげたい。これからも一人一人に寄り添うことをブレずにやっていきたいですね」



工夫したポイント

- 飛沫感染防止パネルの使用
- 距離を測りやすくするための1m棒を用意
- 消毒用アルコールスプレーを随所に配置
- 検温と消毒の徹底
- QRコードを取り入れたボランティア受付
- 大声での説明や不安を取り除くための看板設置

京都府社会福祉協議会からのお知らせ

ご寄付・寄贈ありがとうございました。
ご芳志の趣旨に沿い活用させていただきます。

- 寄付** 令和2年11月27日『公益財団法人 京遊連社会福祉基金』様 500,000円
令和2年12月10日『株式会社キリック』様 250,000円
令和2年12月10日『一般財団法人 近畿陸運協会』様 250,000円
- 寄贈** 令和2年9月23日 中田典子様フェイスシールド

◎ 善意の橋渡し

令和2年11月に『京都府宅建政治連盟』様より、ハンドジェルの寄贈について相談を受けました。本会より子ども食堂等にお声がけした結果、府内26ヶ所へ届けられました。
令和2年12月『関西遊技機商業協同組合』様より、車いす7台クッション7枚の寄贈があり、本会で調整の結果、府内の市町村社会福祉協議会宛に届けられました。

FUKUSHI就職フェア 京都府南部のご案内

介護・福祉の仕事 合同就職説明会を実施します。
乙訓・山城・南丹から事業所が集結!
(21法人が出展[予定])

予約不要・入場無料 随時入場可・服装自由

日程 2021年1月16日(土) **時間** 13:30~16:00

会場 ハートピア京都 3階大会議室 **対象** 福祉職場に就職を希望する一般・学生等の方

※新型コロナウイルス感染症への予防対策を実施します(ご理解・ご協力をお願いします)
● 体温測定、マスク着用、手指消毒、社会的距離の確保、ブースでのパーティション設置

問い合わせ先 京都府福祉人材・研修センター TEL.075-252-6297
<http://fukujob.kyoshakyo.or.jp/>



知って得する
セミナー

「コミュニケーション編 ~就職面接で大切にしたいこと~」

日程 2月12日(金)
時間 13:30~14:30
会場 ハートピア京都 4階 第5会議室
対象 福祉の仕事に興味のある方 就職を希望する方・学生など
講師 小瀬 泰之
(京都府福祉人材・研修センター 統括主査 [社会福祉士])

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、濃厚接触(3密)を避けるため、**事前参加申込**を必須としています。【定員30名】

面接会

相談&面接会

京都府内の20法人が出展する相談&面接会を開催します!福祉のお仕事に興味がある方、就職を希望する方など、ぜひご参加ください。**(事前申込制)**施設の概要や仕事内容の質問、希望の働き方の相談など、事業所の方と話ができるチャンスです!福祉関係の資格を持っておられない方・未経験の方の求人もありますよ!

日程 2月12日(金)
時間 14:30~17:00
会場 ハートピア京都 3階大会議室
※ 出展事業所等は下記ホームページを参照ください。

問い合わせ先

京都府福祉人材・研修センター
TEL. 075-252-6297
<http://fukujob.kyoshakyo.or.jp/>



本紙は、共同募金の配分金によってつくられています。

©中央共同募金会

\\ 令和2年度 保育士就業サポートアップ研修会 //

保育士資格を有しているが保育園等で勤務した経験がない方、保育園等を退職後、保育士として職場復帰を目指す方、保育士資格の取得を目指す一般・学生の方を対象として、就職を応援することを目的として開催します。**(定員有・先着順)**

日程 2021年2月6日(土) **時間** 13:00~16:00

会場 城陽市南部コミュニティセンター 1階「研修室」

内容

- ①講義「最近の保育事情について」 講師:(福)清心福祉会 清心保育園 主任 吉村 智子 氏
- ②講義「保育士として必要な対人援助とは」(仮題) 講師:京都文教大学 こども教育学部 こども教育学科 教授 柴田長生 氏
- ③演習「幼児安全法短期講習(一次救命処置)」 講師:日本赤十字社京都府支部 事業推進課長 前田ゆかり 氏
- ④就職相談会

申込・問い合わせ先 **(事前申込制)**
京都府保育人材マッチング支援センター TEL. 075-252-6333
<http://fukujob.kyoshakyo.or.jp/hoiku/>



福祉事業を始めるなら

賠償責任保険は必須です!

福祉事業者総合補償制度
「まごころワイド」をおすすめします。

充実の賠償責任補償制度、
安価な傷害見舞金補償制度など
必要なプランを組み合わせでご加入いただけます。

福祉専門チームによる安心の事故対応、京都市社会福祉協議会、京都府社会福祉協議会が提供する福祉の現場に合った内容です。

詳しい補償内容はこちらまで

福祉の保険「まごころワイド」取扱代理店

京都の総合保険代理店 **S.R.M. 株式会社 エスアールエム**

専用TEL **075-255-0883**

福祉の保険ホームページ www.srm-net.co.jp/smile/

引受保険会社: 三井住友海上火災保険株式会社

この広告は保険の特徴を説明したものです。
詳しくは商品パンフレットをご覧ください。

仮1-10-1111

ボランティア活動には「ボランティア保険」イベントを開催される際には「福祉行事保険」も併せてご利用ください。